東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

2液水溶性溶剤形高日射反射率屋根用無機系遮熱塗料

トーケミ無機ルーフ遮熱[水溶性溶剤タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（2回塗り）
トーケミ無機ルーフ遮熱[水溶性溶剤タイプ]	遮熱色18色	艶有り	12.8kgセット（主剤12.0kg・硬化剤0.8kg）	主剤：硬化剤＝15：1	4時間以内（23℃）	約40～53㎡/12.8kg

適用基材

屋根	新生瓦（化粧スレート）、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、アスファルトシングル、カラー鋼板、その他各種旧塗膜

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かび・こけなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 屋根材の割れ・欠損、役物の釘浮きなどは適切に補修する。						
下塗り	トーケミ万能EPOテック（ホワイト）又は、トーケミマルチサーフ	各下塗り材の標準塗装仕様による					
上塗り	**トーケミ無機ルーフ遮熱[水溶性溶剤タイプ]**	2	0.12～0.16	4時間以上5日以内	水道水	0～5	はけ・エアレス ウールローラー

注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

1. アスファルトシングルに塗装する場合は、下塗りにトーケミ万能EPOテック[水性タイプ]を使用してください。
2. 乾式洋瓦は、ターボノズルなどを併用し150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層の除去を確認のうえ、下塗りにトーケミ万能EPOテックを2回塗りしてください。
3. 遮熱色は、下塗りにトーケミ万能EPOテック（ホワイト）又はトーケミマルチサーフを使用し、中塗りを行わず2回塗りで仕上げてください。使用量が不足すると遮熱効果が十分に発揮されません。
4. かくはん初期は硬化剤が水となじみにくく、手作業のかくはんでは混合不良となる場合があります。必ず電動かくはん機を使用してください。

【施工環境・気象条件】

5. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
6. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
7. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。

【素地調整・下地】

8. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
9. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
10. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
11. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。防藻・防かび性は繁殖を抑制するものです。
12. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
13. 吸込みの激しい下地では、下塗りを薄れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】

14. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
15. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は隠ぺい力不足・光沢低下・色相変化・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一とし、溶剤形塗料では指定外の希釈剤を使用しないでください。
16. 使用前に十分にかくはんしてください。濃色・艶調整品・遮熱塗料は顔料や艶消し剤が沈降しやすいため特に入念に。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】

17. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】

18. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると隠ぺい不良・色相差・点さび・耐久性低下の原因となります。薄膜になりやすいエッジ部は増し塗りしてください。
19. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
20. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
21. 鮮やかな黄・赤・青・緑系の色相は隠ぺい性が低いため、隠ぺい性の良い共色で下塗りしてください。
22. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【仕上がり・補修】

23. 被塗物の形状・膜厚・塗装方法などにより、色相・艶が見本と若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行ってください。
24. 艶調整品は塗り継ぎで艶むらが生じやすいため、面を切って通し塗りしてください。
25. 補修用に使用塗料のロットを控えておき、同一ロット・同一希釈率・同一塗装方法で補修してください。はけ塗りとローラー塗りが混在すると、仕上がり肌や色相に若干の差が生じます。
26. 低汚染性は、建物の構造・部位・環境条件などにより十分に発揮されない場合があります。

【適用部位・部材】

27. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】

28. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
29. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
30. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
31. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
32. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。